

しづかなる春山峡のかなしさよ杉原ゆけば杉の香ぞする

やまかい

湯の歌碑⑪

出典 霧（昭和十六年）

場所

酢川温泉神社

《感想》 とてもすがすがしい歌だと思ふ。実際に自分が春の蔵王の山を歩いている気分になる。

【意味】 静かな春の蔵王の山道を歩いていると、深く心を打たれる思いがする。そして、杉の木が生い茂る高原を歩くと、杉の香りが漂っていて、すがすがしい気持ちになる。



蔵王のおすすめポイント

やはり蔵王といったら登山です。普段の生活では味わえないとても楽しい体験です。天気がいい日は山形の街を眺めながら登ることができ、より一層楽しめます。

僕が作った蔵王短歌

みんなきて！蔵王の自然はビタミン剤心も体も安らぐよ

二年 堀 敦弥